のんびり沢旅

八幡平　葛根田川　北ノ俣沢明通沢

【日程】
2019年8月11日（日）～13日（火）
【メンバー】
飯島（L）、煤孫（SL）、長山、榎本
【グレード】
２級上
【地形図】
曲崎山

【記】飯島

まだ葛根田川を遡行したことのない煤孫さんと行ってみたい私で計画が始まり、そして長山さんと榎本さんも参加してくれ、賑やかな沢旅となった。大型台風10号が日本へ近づいていたが、台風が北東北へ来るのは15日以降というのが直前の天気予報であったが、さてどうなるか。

8月11日（日）：晴れ

前夜の長距離運転に疲れたが、9時には入渓した。天気は快晴で暑くて熱中症になりそうだ。当初は登山道から下山する計画であったが、長山さんが提案してくださった明通沢の下降へ変更して良かったと思った。
ゲートから少し歩くと入渓となった。大きな流れであり、沢というより川だ。榎本さんは早速気持ち良さそうに淵を泳いでいた。有名なお函は綺麗だった。だが、増水すると通れなくなるので、台風前に来れてよかった。進んでいくと、やはり有名沢だけあって、他にも沢登り2party、釣り1partyと会った。魚影もないわけだ。しばらくすると、中ノ俣沢との出合いに着く。ここで長山さんと榎本さんが竿を出すが、釣れなかった。私は昼寝をしていたが、ぶな森が綺麗でとても気持ちが良いところだった。

幕場予定地の滝ノ沢出合の手前で岩魚が釣れ、とりあえず安心。テンカラ釣りを初めてみたが、榎本さんは上手かった。狙ったところへ毛針を飛ばし、ビシッと合わしていた。幕場予定地は他partyが既にいたため、先へ進むとすぐに大滝が現れた。ここで大高巻きとなり、疲れてしまい、大高巻きが終わったあたりで幕。いつものようにタープを張って、薪を集めて宴会。岩魚の塩焼きを丁寧にすることが出来て、とても美味しかった。煤孫さんが喜んでいた。渓の恵に感謝。

［気持ち良さそうに泳ぐ榎本さん］

8月12日（月）：曇り、時々晴れ

今朝ははじめに竿を出しながら進むと、淵のところにたくさんの岩魚がいた。ここで長山さんが大岩魚をかけるが惜しくもバラしてしまった。後続party も来たため、竿をしまって遡行に専念する。いくつかの小滝を登っていくと、大滝が出て来た。ここは左岸に高巻いた踏み跡があり辿ると、灌木のないところを強引に行っていたので、安全のため大高巻きして次の滝もまとめて巻いた。暑くて疲れた。その後も小滝を登っていくと、いよいよ源頭となり水流もなくなり、根曲がり竹の藪漕ぎとなった。グラスを装備した榎本さんが先頭を行ってくれる。私は竹が目に刺さったりした。ここまで大変な藪漕ぎは初めてであった。先輩方からするとまだまだと言われそうだが、藪漕ぎしながら、右俣を後悔していた。つらいつらい藪漕ぎをすること1時間、急に視界がひらけ、ご褒美のような湿原が現れた。癒される。

下降はコンパスとGPSを使いながら進むと、大した藪漕ぎをすることなく沢型に入ることができた。下降して本流へと出合うと、水流の規模も大きくなった。白い岩に清流、美しい。名渓だ。藪漕ぎしてよかった。

ここから5-6回は懸垂下降をした。最後の方は久しぶりに大滝の懸垂下降となり緊張した。
懸垂下降も終わりほっとしたところで二俣出合いとなり、幕とした。薪が豊富で焚き火を楽しめたが、何回か爆発しており、近くでごろ寝していた長山さんが無事でよかった。

8月13日（火）：曇り、のち晴れ

今日は少し下降するだけである。林道は藪に覆われていたが、道があり楽に下山することが出来た。

台風を心配していたが、雨に降られることもなく葛根田を楽しむことが出来た。今回最も印象に残ったのは根曲がり竹の藪漕ぎである。この藪漕ぎは3級だろうか。

【行程】

8/12 地熱発電所(8：00)～中ノ又沢出合(10:20/11:00)～大滝下(12:20)～滝ノ又沢出合(13:30/14:20)～C1(16:00)

8/13 C1(7:30)～8mナメ滝下(10:10)～湿原(12:20/30)～C2(15:50)

8/14 C2(7:30)～林道(8:10/20)～地熱発電所(9:30)